



2021(仏暦2564)年 4月号 (第115号)

万行寺寺報

Mangyoji Jihō

発行
浄土真宗本願寺派 万行寺
住職 山崎信充
〒385-0003
長野県佐久市下平尾4 6 1 - 1
電話 0267-67-2460



■住職法話

おかげさまの生活

■浄土真宗 (新) 仏事のイロハ

■本願寺の本

いつでも歎異抄

■編集後記

年忌法要表

1 周忌	2020(令和 2)年	23回忌	1999(平成11)年
3 回忌	2019(令和 1)年	25回忌	1997(平成 9)年
7 回忌	2015(平成27)年	27回忌	1995(平成 7)年
13回忌	2009(平成21)年	33回忌	1989(平成 1)年
17回忌	2005(平成17)年	50回忌	1972(昭和47)年

住職 法話

おかげさまの生活

今月の法語

如來さまの
最も遠い身
は最も近い身
でありました

脚本家の橋田壽賀子さんが亡くなりました。「おしん」渡る世間は鬼ばかり」といったドラマを手がけられ、テレビにも出演され親しまれた方でした。テレビの追悼番組を見ていると、熱海にあるご自宅のリビングで、先立たれたご主人の事についてお話をされていた場面が印象に残りました。

それは、先立たれてもう何年も経つけど、居ないけど今もそこに居るんですよと、ご主人が普段座られていた椅子を指されてお話をされていました。ここに居ると、今でも「何やつているんだ」と言われているようで、ああしろこうしろと何時も見張られているような気分になるそうです。ここには居ないけれども、家にあるご主人の思い出の全てが橋田さんの生活を支えられていたように感じました。皆様も、故人が普段おられた場所や使われていた思い出の品などを通して、先立たれた方のお姿を感じられたことがあると思います。

仏さまと成られたということは、私たちとはかけ離れたお力をそなえられたということですから、どうしても浄土という光の遠い遠い世界へ往ってしまったというイメージを持つ方が多いようです。しかし、仏さまは、何時でも何処でも見まもって下さいます。お題の今月の法語に「ごさいますように、如來さま（仏さま）と成られた亡き方は、あちらの手の届かない遠い世界に往ってしまったと思っておりますが、実は皆様のいま直ぐ目の前で、常に今も働いて下さっているというお言葉です。仏さまと成られ

た方を身近に感じ、心落ち着く一瞬を頂いていますと、日々感謝のうちの生活が続くということです。「南無阿弥陀仏」という念仏の心にも通ずるところがあります。私たちは「生かされて生きている」いのちを頂いています。仏さまと成って先立たれた方々に見まもられながら生かされていると、「おかげさま」の生活が見えてきます。「おかげさま」は、見えない影のお力という意味で、仏さまの教えから生まれた言葉です。南無阿弥陀仏、おかげさまで。



浄土真宗

◎ 仏事 の イロハ

一、お仏壇のお飾り

— 仏さまを仰ぐ —

「先祖の記録」

浄土真宗では位牌を用いない！

亡き人の法名を刻んだ位牌をお仏壇の中に入れてお宅を、たまに見受けます。位牌の前にお仏飯やお水が供えられていたり、真ん中に置いて、「本尊が隠れてしまっていたりすることもあります。」

これでは何のためにお仏壇を求め、「本尊をお迎えしたのかわかりません。この位牌が「お仏壇は死者を祀る所」という誤解を助長しているよ

うに思われます。この際、浄土真宗では位牌を用いないということも、もう一度申しておきましょう。

そもそも位牌は、中国の儒家で用いられていたもので、亡き人の官位と姓名を記した牌であり、そこに神霊が宿ると信じられていました。やがて日本の祖先崇拜と結びつき、仏教にも転用されたのですが、やはり根底に「霊の宿る所」という意識が残っていると云わねばなりません。位



牌を亡き人と見たてて、生前好きだった食物を供えたり、またのどを潤すために水を供えるのも、こうした意識の表れです。浄土真宗で位牌を用いないのは、そうした仏教にそぐわない霊魂観に基づいたものだからです。

それでは、亡き人を偲ぶようですがは何もないのかと云うと、そうではありません。過去帳が法名軸をお使いください。過去帳は、先祖の記録帳のようなもので、亡き人の法名、俗名、死亡年月日などを記しておきます。命日や法事の時に過去帳を置く場合



過去帳

は台に載せて開け、「本尊の妨げとならないようにお仏壇の中段脇か、下段に置きます。もちろん、過去帳の前にはお水や食物などは供えません。また、法名軸はお仏壇の側板にかけるようにします。なお、すでに位牌がある場合は、手次ぎのお寺の住職にご相談ください。

ポイント

- ▼ 浄土真宗では位牌を用いない
- ▼ 故人の法名は過去帳に
- ▼ 過去帳の前に供物はいらぬ

「浄土真宗 ◎ 仏事 の イロハ」 末本弘然著 / 本願寺出版社刊より



～本願寺の本～

新刊 **いつでも**

歎異抄

『歎異抄』の世界に
すっぽり包まれる、
新感覚の一冊!!



意訳 井上 見淳 イラスト 一ノ瀬 かおる 編集 井上 見淳 / 浄土真宗本願寺派総合研究所

『いつでも歎異抄』 本願寺出版社刊 770円(税込)
『歎異抄』の世界にすっぽり包まれる、新感覚の一冊。(本願寺出版社HPより)

親鸞聖人御誕生850年 慶讃法要

立教開宗800年

Joint Celebration
850th Anniversary of Shinran Shonin's Birth & 800th Anniversary of the Establishment of the Jodo Shinshu Teaching

法要期日

2023(令和5)年	
第1期 3月29日(水)～4月3日(月)	第3期 4月24日(月)～4月29日(土)
第2期 4月10日(月)～4月15日(土)	第4期 5月6日(土)～5月11日(木)
	第5期 5月16日(火)～5月21日(日)

毎月16日はShinran's Day 浄土真宗本願寺派
親鸞聖人のご命日です ご参拝ください 龍谷山 本願寺

編集後記

表紙は月々のイメージに沿った画像を載せていきま
す。◆四月八日はお釈迦さ
まの誕生日とされていま
す。「灌仏会」と言われ、
一般には「花まつり」とし
て知られています。小さな
お釈迦さまのお像に甘茶を
おかけしてお祝いをしま
す。仏教行事の一つです。
当寺では灌仏会は行ってお
りませんが、四月といえ
ばお釈迦さまのお誕生日とい
うことです。◆新型コロナ
ウイルスのワクチン接種が
やっと間近になってきたよ
うです。迅速に混乱のない
接種を進めて
ほしいもので
す。

